

## 第2回大洲市水道事業経営審議会 議事概要

日時：令和4年1月28日（金）午前10時00分～  
場所：大洲市役所2階大ホール

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事

### (1) 大洲市水道ビジョン（水道事業経営戦略）について

#### 【委員質問と事務局回答】

- ・委員質問1：長浜地区の漏水が進んでいて管路の更新が必要と聞いている。人口が減り、水道料金の値上げは現実的に行わなければと感じているが、料金改定の時期はいつ頃で考えているのか。例えば、一般家庭でどのくらい変わってくるのか。見込みを教えてください。
- ・事務局回答：審議会で今の水道事業の現状から、まず料金改定の是非を判断していただきたい。事務局としては、料金改定は避けて通れない状況なので、そこを審議していただく。改定の幅も、事務局で案を提示して審議会で諮っていただき、適正な価格を設定するという流れ。事務局としては、第一段階として料金統一を考えている。長浜料金に統一すると、大洲料金が400円くらい9%前後の値上げになるが、案についてはまた提示させていただく。
- ・委員質問2：長浜地区の水運用の再編成やバックアップ機能の強化とは、具体的にどういうことなのか。
- ・事務局回答：長浜地区の水運用の再編とは、今の施設の能力が過大になれば、運用し続けると費用がかかる。なので、将来的に長浜の水源を廃止して、大洲の水を持って行き、水源の維持管理費を削減するというのが水運用である。バックアップ機能とは、一つの水源が使えなくなったときに、別の水源から水を運用するために各水源を結ぶ連絡管の整備のことである。
- ・委員質問3：柴の水源を縮小・廃止するとなると、菅田水源の水を持って行くことになる。その分の水量の確保・拡張は考えているのか。
- ・事務局回答：将来の水需要の状況を考えて、以前の水源の規模を確保している。五郎水源と小倉水源もあるので、これらの水運用も計算して長浜地区へ送水することになる。

- ・委員質問4：河辺地区は、水道を自己管理している地域がある。10年先を考えたときに、高齢化で利用者数も減り自己管理が難しくなる。その時にどうしたらいいのか教えてほしい。
- ・事務局回答：河辺地区だけでなく山間地域の水道は、そういった問題がある。ただ、管理については専門業者に委託してはどうかと助言している。市の方で管理はなかなか難しいというのが現状。将来的には水源の統合も考えなければいけないと思うが、現実的には進んでいない。
  
- ・委員質問5：水道管の耐用年数はどれくらいなのか。
- ・事務局回答：一般的に使用している硬質塩化ビニール管は40年、ダクタイル鋳鉄管は60年を標準としている。
  
- ・委員質問6：更新は、耐用年数の古いものから順番にするというイメージでよいか。
- ・事務局回答：本来は耐用年数で更新するのが一番だが、高度成長期に集中的に拡張しているので、全部更新すると集中投資の時期がでてくる。なので、耐用年数ではなく使用年数（耐用年数の1.5倍）で更新し、年間の投資金額を平準化する計画にしている。
  
- ・会長意見：大洲市も人口が減ってくる。山間部の水道の維持管理を大洲市としてどうするかを、計画のなかに入れていただきたい。
  
- ・委員質問7：戸数が減ると補修金額が上がる。人口が減り管理できなくなったら、何か援助が必要になる時代が来るのではないかと懸念している。
- ・事務局回答：非常に難しい問題なので、今後の検討課題にさせていただく。小規模水道施設の修繕は、市民生活課で補助があるので活用してほしい。

## (2) 令和3年度決算見込みについて

### 【委員質問と事務局回答】

- ・委員質問8：耐用年数で更新したときの更新費用は、収益的支出の修繕費に計上されるのか。
- ・事務局回答：更新費用は資本的収入支出に計上される。
  
- ・委員質問9：損益計算書の減価償却費が4億9千万円、令和3年度の投資額はここには出ていないのか。
- ・事務局回答：資本的収入支出になるので、ここには出ていない。令和3年度の建設改良予算は全体で18億円である。

- ・委員質問 10：何か決め事があるのか。
- ・事務局回答 1：特にない。
- ・事務局回答 2：減価償却の比率は耐用年数で一律ではない。

#### 4 その他

##### (1) 次回開催日程及び開催内容について

- ・連絡事項：次回の開催は来年度 4 月～5 月を予定している。議事内容は、経営収支計画と、水道料金等の予定である。

#### 5 閉会